

夏休み部隊見学で自衛隊を体験



自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 荒木 功順3等陸佐）は、7月24日（木）、横須賀市武山地区に所在する陸上自衛隊及び航空自衛隊の部隊見学を実施した。この見学は、学生の夏休み期間を利用し、自衛隊に対する理解の促進や信頼感の醸成、防衛基盤の拡充を目的として企画されたもので、この日は自衛隊に関心を持つ高校生や保護者ら11名が参加した。

午前中は陸上自衛隊武山駐屯地を見学。概要説明の後、陸上自衛隊高等工科大学ではAEDの使い方や心臓マッサージの方法など救急法の実演があり、参加者は寸劇を交えたわかりやすい説明に、楽しみながら学んでいた。

続いて第31普通科連隊の装備品展示では、軽装甲機動車や指揮通信車など、普段は目にする機会の少ない自衛隊車両に搭乗して記念撮影を行ったほか、高機動車による不整地走行の体験搭乗もあり、参加者にとって貴重な体験となった。

午後は航空自衛隊武山分屯基地に移動し、第2高射隊で概要説明を受けた後、車両展示の見学や消防車による放水訓練を体験。特にPAC-3の訓練展示では、その規模の大きさや、猛暑の中で隊員が糸乱れぬ連係動作を見せる姿に、参加者は大きな感銘を受けていた。

炎天下での基地見学となったが、参加者からは「自衛隊への理解と関心が高まった」との声が聞かれた。

上大岡募集案内所は、「今後も効果的な広報活動を推進し、募集基盤の拡充に努めていく」としている。

